

授業でのICT機器の活用頻度

学校の授業におけるICT活用は日常化

学校の授業におけるICT活用の日常化が進んでいる。全体では小学校>中学校>高校の順で活用頻度が高く、小学校では8割前後の教員が、半分以上の授業（「毎回の授業」～「半分程度の授業」）でICT機器を使って指導している（図2-1①）。児童・生徒の活用頻度は教員より低く、小・中学校は全体で5割強、高校は3割台にとどまるものの、どの学年も2021年に比べて増加している（図2-1②）。人口規模別にみると、生徒の活用頻度の差は縮小している（2021年：8.4ポイント差→2022年：2.9ポイント差、図2-2②）。

Q あなたは授業のなかでICT機器をどれくらいの頻度で使用していますか。
 —「あなた(教員)がICT機器を使って指導すること」
 —「児童・生徒がICT機器を使って学ぶこと」

図2-1 授業でのICT機器の活用頻度<半分以上の授業で活用する比率>（経年比較、学年別）

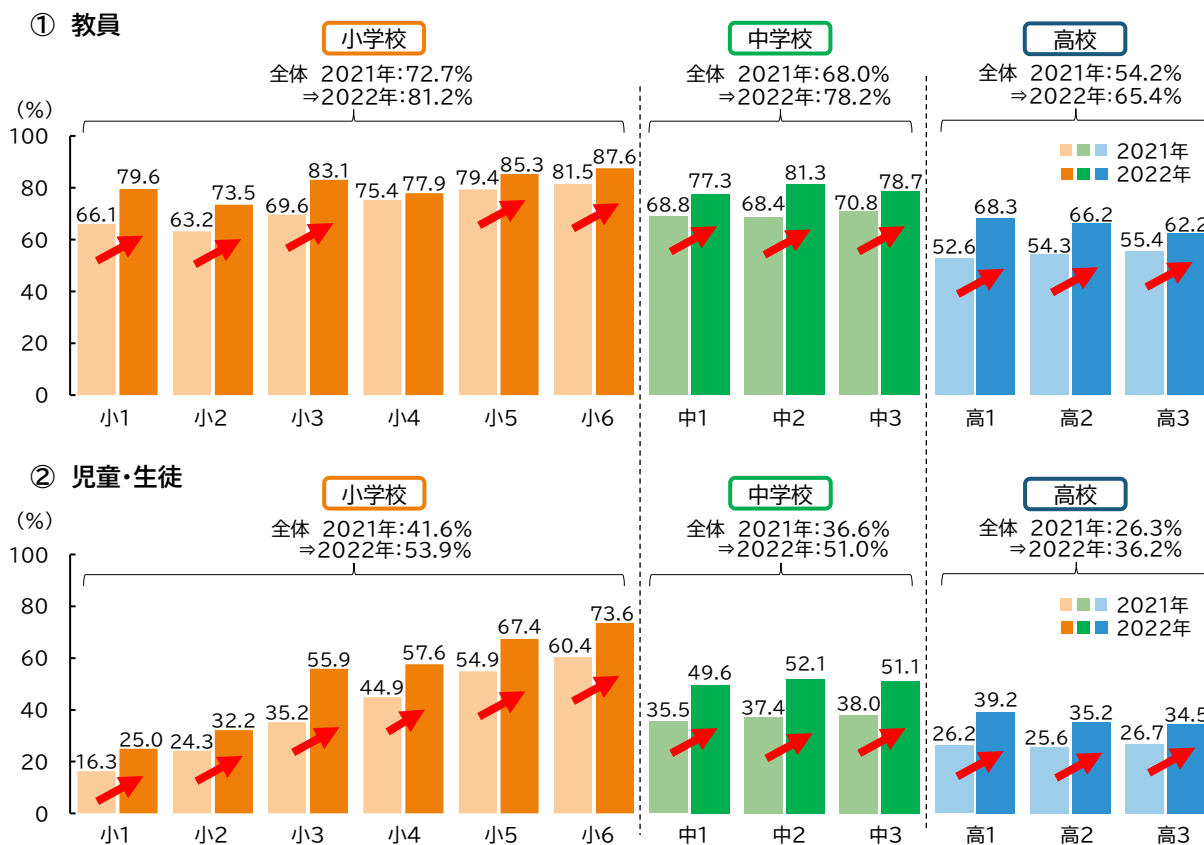
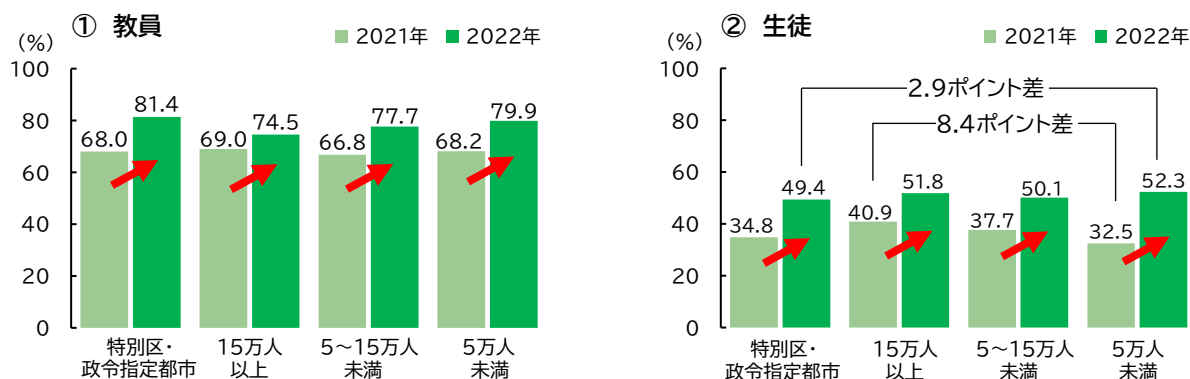


図2-2 授業でのICT機器の活用頻度<半分以上の授業で活用する比率>（経年比較、人口規模別） 中学校



※ 「毎回の授業」 + 「7～8割程度の授業」 + 「半分程度の授業」の%（図2-1②）。
 ※人口規模の4区分中、比率がもっとも高いものと低いものの差を示している（図2-2②）。

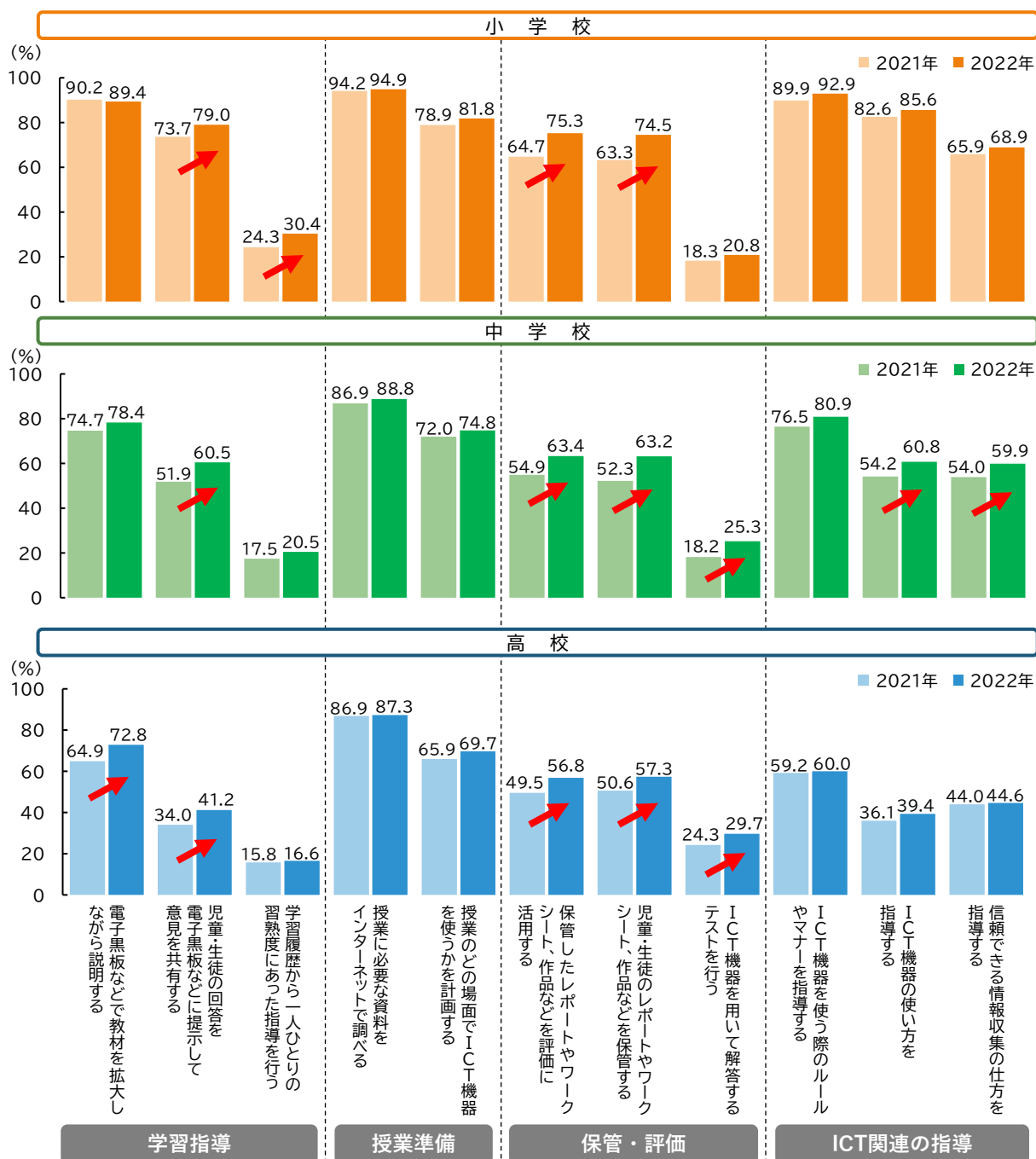
教員のICT機器の活用内容

電子黒板での提示や授業準備における活用率が高い

2021年からの1年間で比率が高まった項目が多く、教員がICT機器を活用する場面は増加している。特に「電子黒板などに提示して意見を共有する」、児童・生徒のレポートなどを「保管する」「評価に活用する」の比率は、小・中・高校ともに5ポイント以上増加している。ほとんどの項目で小学校の活用率がもっとも高く、次いで中学校、高校の順であるが、「テストを行う」の比率は、高校（29.7%）がもっとも高い。

Q あなたは、ICT機器を活用して、次のような学習指導(下記の11項目)をどれくらい行っていますか。

図2-3 教員のICT機器の活用内容(経年比較)



※ 「あなた(教員)がICT機器を使って指導すること」の頻度を尋ねた質問(p.9)に「毎回の授業」～「1割未満の授業」と回答した教員のみ。回答。 ※ 「よく行っている」+「ときどき行っている」の%。

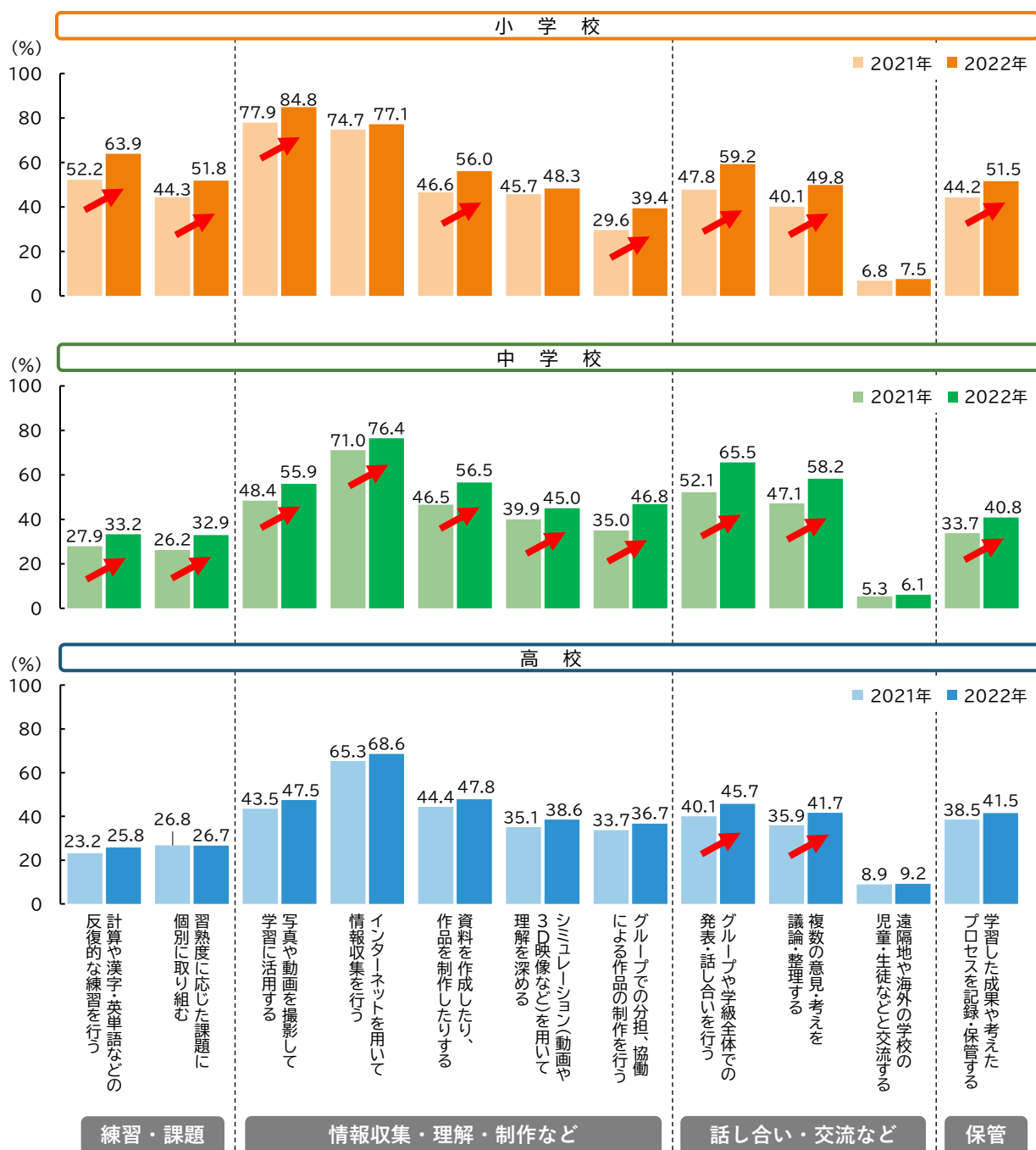
児童・生徒のICT機器の活用内容

協働的な学びや反復学習での活用が小・中学校を中心に増加

児童・生徒がICT機器を活用する場面も増加している。特に「グループや学級全体での発表・話し合いを行う」「複数の意見・考えを議論・整理する」などの協働的な学びでの活用は、小・中・高校で増加した。また、小・中学校では、作品の制作などのほか、「反復的な練習を行う」「課題に個別に取り組む」など、個別の学びでの活用も増加している。活用の場面や方法は多様であるため、学習者も指導者も、活用の質を意識することが一層重要になるだろう。

あなたは、ICT機器を活用して、次のような学習指導(下記の11項目)をどれくらい行っていますか。

図2-4 児童・生徒のICT機器の活用内容(経年比較)



※「児童・生徒がICT機器を使って学ぶこと」の頻度を尋ねた質問(p.9)に「毎回の授業」～「1割未満の授業」と回答した教員のみ回答。
 ※小学校は「計算や漢字などの反復的な練習を行う」、中・高校は「計算や英単語などの反復的な練習を行う」と尋ねている。
 ※「よく行っている」+「ときどき行っている」の%。

教科別にみたICT機器の活用頻度・内容

教員・生徒の活用頻度は、外国語・社会などで高く、数学で低い

中学校におけるICT機器の活用頻度を教科別にみると、教員の活用頻度が高かったのは外国語（94.4%）で、次いで社会（87.2%）、理科（82.5%）である（表2-1）。また、生徒の活用頻度は、国語、社会、外国語が同程度である（5割台、表2-2）。活用内容をみると、外国語では、教員が電子黒板などで「説明する」（表2-1）、生徒が英単語の「反復的な練習を行う」（表2-2）の比率が他教科より高く、教員の指導と生徒の自学習の両方でICT機器が活用されている。国語では「資料を作成したり、作品を制作したりする」（表2-2）など言語教科の特性を生かした活用も行われている。

Q あなたは、ICT機器を活用して、次のような学習指導をどれくらい行っていますか。

表2-1 教員のICT機器の活用頻度と活用内容(2022年、教科別) 中学校 (%)

	国語	社会	数学	理科	外国語
授業でのICT機器の活用頻度	66.5	87.2	64.5	82.5	<u>94.4</u>
電子黒板などで教材を拡大しながら説明する	67.7	81.0	73.7	82.6	<u>88.5</u>
児童・生徒の回答を電子黒板などに提示して意見を共有する	<u>65.7</u>	62.9	54.7	64.7	56.3
学習履歴から一人ひとりの習熟度にあった指導を行う	17.9	18.0	20.6	19.7	<u>23.3</u>
授業に必要な資料をインターネットで調べる	93.8	<u>95.2</u>	73.8	92.8	93.7
授業のどの場面でICT機器を使うかを計画する	76.0	79.6	64.9	74.4	<u>80.2</u>
保管したレポートやワークシート、作品などを評価に活用する	<u>75.0</u>	65.3	46.3	63.9	71.1
児童・生徒のレポートやワークシート、作品などを保管する	<u>74.8</u>	65.3	47.6	62.1	69.0
ICT機器を用いて解答するテストを行う	22.9	28.9	17.7	<u>30.0</u>	27.2
ICT機器を使う際のルールやマナーを指導する	86.7	<u>86.8</u>	74.1	78.8	79.1
ICT機器の使い方を指導する	61.5	<u>65.8</u>	54.6	63.4	58.5
信頼できる情報収集の仕方を指導する	<u>76.3</u>	75.0	43.4	60.5	49.3

表2-2 生徒のICT機器の活用頻度と活用内容(2022年、教科別) 中学校 (%)

	国語	社会	数学	理科	外国語
授業でのICT機器の活用頻度	<u>57.8</u>	57.0	37.0	48.8	56.7
計算や漢字・英単語などの反復的な練習を行う	22.1	18.7	47.2	21.7	<u>53.5</u>
習熟度に応じた課題に個別に取り組む	30.0	26.4	38.2	28.2	<u>38.6</u>
写真や動画を撮影して学習に活用する	59.4	48.1	40.4	<u>66.2</u>	62.9
インターネットを用いて情報収集を行う	<u>88.8</u>	85.0	49.9	79.8	85.1
資料を作成したり、作品を制作したりする	<u>75.5</u>	57.0	36.3	55.7	63.0
シミュレーション(動画や3D映像など)を用いて理解を深める	31.5	47.2	43.5	<u>57.5</u>	39.3
グループでの分担、協働による作品の制作を行う	<u>59.6</u>	50.4	31.3	48.2	48.4
グループや学級全体での発表・話し合いを行う	<u>71.1</u>	69.9	56.2	67.6	64.0
複数の意見・考えを議論・整理する	<u>68.0</u>	66.2	48.5	61.3	49.7
遠隔地や海外の学校の児童・生徒などと交流する	3.9	7.2	4.7	6.3	<u>7.4</u>
学習した成果や考えたプロセスを記録・保管する	<u>47.4</u>	41.1	34.5	39.0	42.0

※教員の「授業でのICT機器の活用頻度」（表2-1）はp.9の図2-1①を、生徒の「授業でのICT機器の活用頻度」（表2-2）はp.9の図2-1②を教科別に示したもの。「毎回の授業」+「7～8割程度の授業」+「半分程度の授業」の%。

※教員の「活用内容」（表2-1の11項目）はp.10を、生徒の「活用内容」（表2-2の11項目）はp.11を教科別に示したもの。「よく行っている」+「ときどき行っている」の%。

※教科の5群中、もっとも比率が高いものに下線を引いている（表2-1～2）。

1人1台端末の持ち帰り頻度と使い方

「ほぼ毎日」の持ち帰りが小学校26.1%、中学校35.2%

小・中学校とも、1人1台端末を家に持ち帰らせている比率が大幅に増加し、6割前後となった（小65.4%、中59.4%、「ほぼ毎日」～「月に1回以下」の合計、図2-5）。この比率は、人口規模の大きい地域ほど高い（図2-6）。また、持ち帰りの頻度も増加し、「ほぼ毎日」が小学校26.1%（4人に1人）、中学校35.2%（3人に1人）となった（図2-5）。家での使い方をみると、小学校では「宿題」「学校との連絡用」の比率が増加しているが、中学校では「生徒に任せている」の比率が増加している（図2-7）。

Q くだん(長期休業期間[夏休みなど]を除く)、あなたは1人1台端末を、児童・生徒にどれくらいの頻度で家に持ち帰らせていますか。

図2-5 1人1台端末の持ち帰り頻度(経年比較)

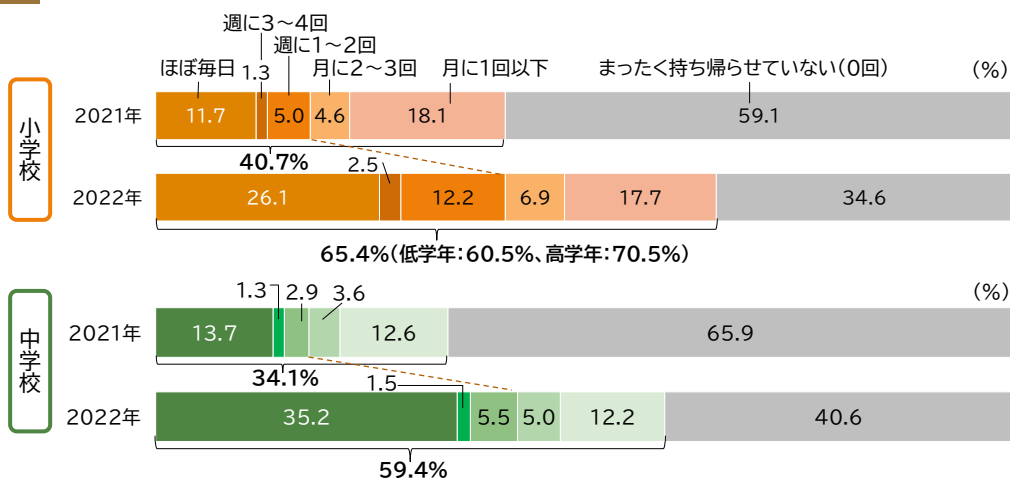


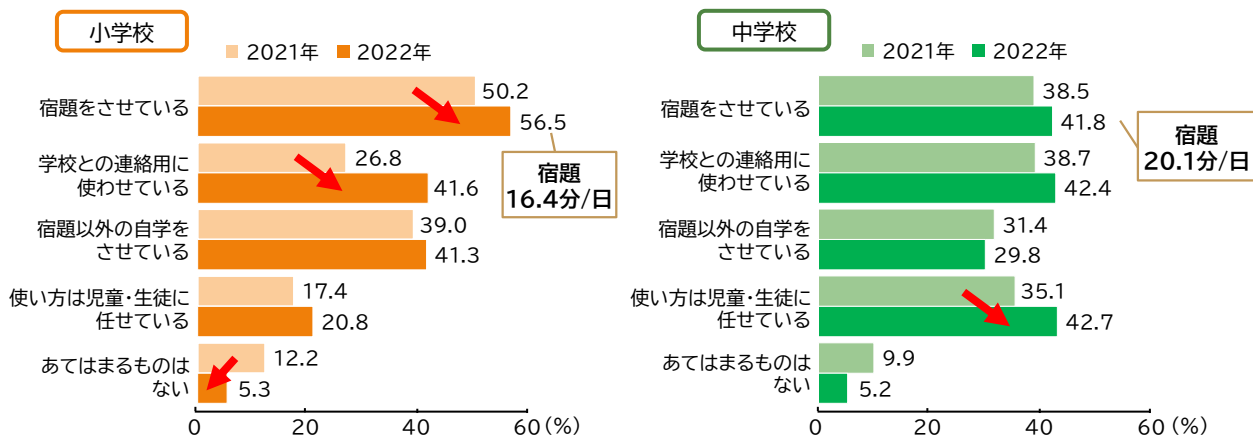
図2-6 1人1台端末の持ち帰り頻度<持ち帰らせている比率>(2022年、人口規模別)

	特別区・政令指定都市	15万人以上	5~15万人未満	5万人未満
小学校	71.3	71.1	62.4	57.7
中学校	67.3	63.0	56.4	53.4

※1人1台端末の「導入が完了している(あてはまる)」と回答した教員のみ(図2-5~6)。
 ※「ほぼ毎日」～「月に1回以下」の合計(図2-6)。

Q くだん(長期休業期間[夏休みなど]を除く)、児童・生徒に持ち帰らせた1人1台端末をどのように使わせていますか。

図2-7 持ち帰らせた1人1台端末の使い方(経年比較)



※1人1台端末を家に持ち帰らせている教員(図2-5の「ほぼ毎日」～「月に1回以下」)のみの回答(図2-7)。
 ※複数回答(図2-7)。
 ※宿題の時間は、持ち帰らせた1人1台端末で「宿題をさせている」と回答した教員に尋ねた「1人1台端末を使って出す1日の宿題の量」の回答から平均を算出した(図2-7、2022年)。